

うえるかむ

WELCOME YAMAGATA! COMMUNICATION FREE PAPER.



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・わからないこと、相談会で聞いてみよう
- ・福島県情報 避難相談窓口「生活村」
- ・宮城県情報 JAZZ in 渡波 ・冬生活を楽しもう
- ・山形県情報 平清水から息づく支援／芋煮会 ・特派員日記
- ・リレー応援エッセイ ・おすすめ情報 ・みんなの声
- ・ひと休み ・編集部より

第5号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 2,000部

わからないこと、相談会で聞いてみよう

避難されている方々のために、法律に関する相談会が各地で開催され始めている。その中で、直接相談にあたった弁護士の方に、電話インタビューをおこなった。聞き手は、「りとる福島」の管理人で本誌編集部員でもあるひろびい（佐藤洋）が担当した。

Q: 今どのくらいの方の相談がありますか。

A: 私が担当しているのは十名弱ぐらいの方達なんです。そのくらいの人数の相談を聞いている弁護士が他にも大勢おりますね。



Q: 避難区域と自主避難それぞれのケースの相談で感じる違いは?

A: 自主避難者への損害賠償については、政府の中間指針の中でも全然触れられていないんです。ですから、賠償請求の書類は自主避難者の方に送られています。そこが最大の違いですね。でも、ある程度の量の放射性物質がそこに存在しているという状況がある以上、指定区域内か否かにかかわらず損害賠償を受ける権利があると考えています。

Q: 自主避難の地域も、全て損害賠償請求の対象になると思いますか。

A: 基本的にその方向で進めています。もと

もと年間の空間放射線量が1ミリシーベルト未満のところに住んでいたのに、原発事故後は間違いなくその数値を超えている訳ですから。

Q: 個別訴訟と、集団訴訟という考え方があるようですが。

A: それについては、相談していく中で、それぞれの方の考え方に従うかたちになりますね。もし集団訴訟をするなら、例えば同じ地域に住んでいた人達というグループ、または同じくらいの空間線量の場所にいた人達というグループでの訴訟というのも考えられます。その場合のメリットは、やはり多数の人が同じことを訴えているので、裁判にかかる費用や証拠を集める手間が軽くなることです。

Q: 最後に、自主避難者の方達に一言メッセージをいただけますか。

A: 日本弁護士連合会は、発行したものの中で自主避難者の損害賠償請求について、「避難に合理性があれば認められるべきである」と書いています。また、一般公衆の年間の空間放射線による累積被曝の許容量は1ミリシーベルトであったことは明確な事実であり、それを無理やり引き上げるのはおかしいという、シンプルな議論です。これを、裁判所に訴えて、必要な補償を受けるということを考えていただければと思います。精一杯、それをお手伝いします。まずは、なんでも相談してください。

相談会に来ていた方に感想を聞いてみました

SKさん(福島市) 私は自主避難組ですし指針にも明記されておりませんでしたので対象にはならないと思っていました。もしあるとしてももっと立場のひどい人、津波の被害も加わった人を優先させるものだと思っておりました。地元には避難したいのに我慢している人もいますので教えてあげたいです。／OYさん(福島市) 親切で丁寧ですね、市や県の職員のようにもっと事務的かと思いましたが対応が違うのでびっくりしました。今福島まで通勤しています。娘は来年高校受験の年ですがどこに通わせればよいのか迷っています。放射能のことも含めてはっきりさせたいですね。／HAさん(福島市) まずは集団で訴訟を起こさなければならないかもしれませんね。グループで行った場合、すべての条件が一致するとは限りません。面倒でも集団の部分と個人の部分と両面で交渉できるように持ち込みたいです。



From 福島

福島で避難相談窓口

「生活村」を開催

十月十日(月)、福島市内のコラッセ福島ビルで開催された生活村というイベントにて、避難村というブースにNPO毎週末山形による山形避難相談窓口が開設された。今回相談に来た人の殆どは山形県内への避難を本気で考えている人であり、無償借り上げアパートの情報の詳細を積極的に求めていた。

窓口では、既に自主避難をして山形県で暮らすママ達が繋がりあって積極的にサークルを作っていることや、米沢市に福島サテライト保育園や、保育士である自主避難ママが開設した「もりん」がある事などを新聞記事を見せながら伝え、また避難者同士が繋がるメーリングリストなども使えることを伝えた。山形ではもう仲間が待っているから安心である事を伝えると、涙ぐんで聞く人が多かった。

自主避難の決断に

悩む人はまだまだ福島にいて、自分の背中をあともう少し押してくれる励ましや情報を待っている。今からは、山形県内にいる避難者の情報が非常に大きな助けになっていくようだ。(Hiroy)



From 宮城

Jazz in 渡波!

緑水の森支援活動

「JAZZ FOR TOHOKU with 大谷哲範」のライブが十月十日、石巻市渡波の拠点(仮称)「石巻ローリングストーン」で行われました。

爽やかな海風が破れた壁からスティージまで心地よく吹き抜ける中、220名を超える地元客の皆さんと共に、熱い音楽とあたたかなイタリア料理を堪能し、そして未来への元気をもらった素晴らしい一日でした。おなじみの山形勢はじめ、東京からの支援団体の仲間達、ジャズシーンの第一線で活躍するJAZZ FOR TOHOKUの皆さんと共に、ALL FOR ONE PROJECT 緑水の森支援活動代表・大谷哲範がピアノとボーカルでコラボしました。



大谷哲範さんより

「元談半分で発案したライブスペース計画(石巻ローリングストーン計画)だったけど、こんな素晴らしい形で実現するなんて、スゴク嬉しいです。グチャグチャメチャメチャな倉庫だったけど、こんなにキレイになったのは、山形のボランティアと宮城の支援団体、そして地元の皆さんのチームワークのおかげ。パン(食糧)が必要な時期は長く続いたけれど、人はパンだけでは生きられないもんね! これから本当に必要になってくるものは、何なんだろうね。みんな考えようね。」



冬生活 を楽しもう② 冷えてきたら、水道管の破裂にご注意!

by. 遠藤

寒さの厳しい日には、水道管内の水が凍結して膨張し、水道管が破裂して屋内が水浸しになることがあります。数日住まいを留守にするときなどは、水道の元栓を閉め、水道の蛇口を開けて残っている水を出しきっておきましょう。水洗トイレの水も同様です。

週末に福島県に戻る、または、週末に山形県に通う方は要注意ください。

水道の元栓は、台所のキッチン内部やガス元栓の近く、または、玄関付近にあります。

雪が降る前に大家さんや隣人の方に聞くなどして、水栓の位置を確認しましょう。

建築年数が経過している住宅に入居されている方は特に注意ください。

除雪ボランティア希望者向けに作った除雪作業の仕方を紹介するブログです。参考までにご覧ください。

<http://blogs.yahoo.co.jp/kateinobousai2>

平清水から 息づく支援

山形市平清水の「七右エ門窯」敷地内にある「正酒屋 六根浄(ろっこんじょう)」店主の熊谷太郎さんは、気仙沼市出身だ。震災後には故郷を想い、炊き出し支援やチャリティライブの開催、支援団体のサポート活動などをしてきた。

平清水を学区内とする滝山小学校には、夏休み明けぐらいから二十数名の児童が転入してきた。そのほとんどが福島県からの転入生だ。熊谷さんは「情報をたくさん知ってほしい」と、小学校に依頼して本紙(うえるかむ)を直接持参し、PTAを通じて転入生たちに配布している。

「店の信念と発想は同じ。その人の気持ちになって正しいと思うことを声に出す。そうやって共有することで、良い方向に向かう」と、熊谷さんは話す。店を構えながら、身近な所からできる支援を続けている。

正酒屋 六根浄

〒990-2401 山形市平清水153
(七右エ門窯敷地内)
TEL 023-666-8977
営業時間：9:00～17:00
毎週火曜日定休



快晴！ 西公園 de 芋煮会



福島から避難してきた家族で一緒に作ったアツアツの芋煮を一齐に味わう「西公園 de 芋煮会」が、十月十六日に山形市の西公園で開かれ、約六十人の親子が大集合した。

材料の購入から下ごしらえなどの準備、場所の確保まで、すべて自主避難ママ&パパによって進められた企画。仲間が連絡を取り合っているメーリングリスト「りとする福島」で事前に個々の食材の情報を伝えるなど、きめ細かい配慮もあった。

雨の可能性が危ぶまれていたが、一転してカラッと晴れた日差しに恵まれ、参加者は味噌仕立ての「福島鍋」と醤油仕立ての「山形鍋」、それらを混ぜた「ミックス鍋」を味わいながら、ゆったりと歓談した。(Hiripy)

特派員日記 避難ママのつぶやき

「外遊びをたくさんさせてあげたい」
去年の今頃、息子の幼稚園選びをしていた私はそのことに重点を置いて探していました。

そして、外遊びが充実している幼稚園と出会い早速入園の手続きをしました。未就園児クラスにも参加したり、先生方や同じ幼稚園に通うママさんたちとも顔見知りになっていくのが楽しかった。それなのに・・・。

四月初旬、真新しい園服に身を包んだ息子とともに家族三人で入園式に出席しました。

その席で、主任の先生から放射能のお話がありました。

おめでたい席なのにつて、なんだか悲しかった。もちろん、知りたい情報だったしお話をして頂けたのはありがたかったのだけど。

・・・あれから約半年。

息子は思いっきり外遊びを楽しんでいます。入園式に出席した幼稚園とは違う幼稚園で。

(あやっぺ)



日記を振り返る

あまりの被害の大きさにどんな支援をするべきか頭を抱えていた三月中旬に書いた日記を開いてみたらこんなことが書いてあった。

「県外避難者の会でもいいし原子力災害の被害者の会でもいい、何でもいから避難者同士で集まって交流する機会を自主的に組織することが絶対に必要となる。(中略)」

一見被災して避難している人が多すぎて支援などできるわけがないように思えるが、こうして被災者自身が自分で動き、できる人から少しずつ卒業できれば少しずつ負担は軽くなる。そして支えられていた人が少しずつ支える側に回れば数学的にも物理的にも復興へのベクトルは加速する。

被災者自身を繋げてその力を引き出すことが復興への重要な要素となり、そのような動きがなければ復興などあり得ない。おのおのの妥協点について目標を定めそれに向かって一人一人が支えあいながら自立へと向かえるようにしたい。」

当時掲げた目標が少しずつ形になっていくことが私の喜びとなっている。(エラそう) (伊藤 範)



あすめ情報

■新クラス開設 えいごであそぼう！

仙台から山形に移り住み、英語を楽しむこと、英語を好きになってもらうことを目標に活動しています。自然に英語感覚を身につけられるように「私たちの日常で使われている言葉を英語にする」ことに重点を置き教材を手作りし、日本人向けの英語遊びに仕上げています。いつからでもスタートできます。一緒に遊び、学びませんか？
対象：小学生～ 会費 500円(入会金なし)

日時：村山市 甕葉プラザ2階 木曜 17:00～18:00

東根市 タントクルセンター2階 土曜 10:00～11:00

申込み：要予約。080-3149-0750小川までお願いします。

※その他、1～3歳児向け(東根市神町／水曜午前)、3～6歳児向け(東根市／金曜午後)も開催しています。お気軽にお問い合わせください。

[主催・問合せ] Judy's English School (小川) 080-3149-0750
Eメール koyuki74@h.vodafone.ne.jp

■生活協同組合共立社 共同購入 はじめませんか？

☆東日本大震災被害により山形県に避難している方を対象に、宅配手数料を大幅値引きします！

☆自主的に避難されている方もご相談ください。

☆お申し込みから104週間、サービスが適用になります。

個人宅配の場合 210円→100円 なかよし個別宅配(2人)の場合 104円→50円 はん配達(3人以上)の場合 無料

[生協の共同購入とは]

- ・共立社独自の安全基準をクリアした食品や雑貨など約2,000点の中から買い物ができます。
- ・毎週お届けするカタログ「WEEK」は東北六県ほぼ同じです。
- ・週に1回、毎週同じ曜日にお届けします。
- ・共同購入ならではの商品が買えます。特に冷凍食品は種類が豊富で好評です。
- ・重いもの、かさばるもの、玄関先までお届けします。
- ・7大アレルギー表示をしています。・重いもの、かさばるもの、玄関先までお届けします。
- ・7大アレルギー表示をしています。

[問合せ/申込み] 生活協同組合共立社 共同購入運営部
受付時間 平日 9:00～19:00/土曜 9:00～18:00(日曜定休)
TEL 0120-916244

WEB <https://www.snet.coop/request/yamagata/>

■チェリアの相談案内

自分らしく、自立して生きていくうえで生じる様々な問題を一緒に考え、解決の方向を見つけるお手伝いをします。秘密厳守、無料
☆一般相談：TEL.023-629-8007(相談専用)

火・水・木・金 9:00～17:00 土・日・祝 13:00～17:00

☆専門相談(予約制・面接)：法律相談、こころの相談

[主催] 山形県男女共同参画センター『チェリア』

山形県山形市緑町1丁目2-36(遊学館2階)

TEL 023-629-7751 FAX 023-629-7752

■山形県 救急電話相談 をご活用ください

医療機関を受診すべきかどうか迷った場合や、家庭での対処方法などについての相談を受け、簡単なアドバイスをします。どうしたらいいのかな・・・と迷った時に、ぜひご利用ください。

・相談時間：毎日 午後7時から10時(3時間)

[大人の救急電話相談]

県内のプッシュ回線・携帯電話：#8500

ダイヤル回線・IP電話・PHS：023-633-0799

[小児救急電話相談]

県内のプッシュ回線・携帯電話：#8000

ダイヤル回線・IP電話・PHS：023-633-0299

■極真カラテを体験してみよう！

避難生活をされているみなさん、私たちと一緒に体を動かしてみませんか？最大4回まで無料体験を実施中！大人から子どもまで大歓迎(呼吸法から丁寧に教えます)

★入会されると、道着を1セット進呈いたします★

山形県内28支部の中から、最寄りの道場をご紹介します。

ぜひお気軽にご相談ください！

[問合せ] 社団法人 極真会館 山形県総本部 田畑道場

〒990-2447 山形県山形市元木1丁目3-13

TEL 023-625-0900 FAX 023-625-0903

WEB <http://www.kyokushin-tabatadojo.com>

携帯サイト <http://www.kyokushin-tabatadojo.com/m/>

※問合せの際は、「うるかむを見ました」とお伝えください。

■あなたの地域でフリースペースをしませんか

避難してきた方、地元の方、あなたの地域でフリースペースをしてみませんか。いっしょに企画から協力してくれる方募集中です。

「NPO法人 Yamagata1」(十元初ママフリースペースの会)

TEL 090-7332-5411(海谷) E-mail mail@yamagata1.org

■山形市の公民館を使ってみませんか

山形市には、市街地に中央・東部・西部・南部・北部、江南(こうなん)、霞城(かじょう)、元木の8つの公民館が所在しています。施設の使用料は無料です。5名以上の団体やサークルでご利用いただけます。仲間同士の寄り合いや、ミーティングなどで利用してみませんか？

ご不明な点につきましては、下記までお問い合わせください。

[お問合せ] 山形市教育委員会 社会教育課社会教育係

TEL 023-641-1212 内線 458

E-mail shakyo@city.yamagata-yamagata.lg.jp

－ 支援をご検討のみなさまへ －

■ボラバス推進コンソーシアム 袋詰めボランティア募集

ボランティアグッズの袋詰め作業を平日の午前または午後に行っています。可能な方は日程をお知らせしますのでご連絡ください。

[問合せ/申込み]

TEL 023-674-7311(復興ボランティア支援センター内)

みなさまからの情報をあ寄せ下さい！



避難されている方に伝えたいメッセージ、サービス、イベントなど、避難されている方からの声や要望など、みなさまからの情報をお待ちしています。送ってくださる場合は、「復興ボランティア支援センター」まで。お待ちしております！

■復興ボランティア支援センターやまがた

[住所] 山形県山形市松山3丁目14番69号(FM山形ビル1階)

[TEL] 023-674-7311 [FAX] 023-674-7312 [E-mail] kizuna@yamagata1.jp

[開館時間] 10:00～16:30 [休館日] 土日祝日、年末年始、夏期休業

[ウェブサイト] <http://kizuna.yamagata1.jp/> (モバイル閲覧可)

※ 駐車場に限りがありますので、乗り合わせ等ご協力ください

■第13回秋の木楽里祭

日時：平成23年10月29日(土)～10月30日(日)
会場：米沢市万世コミュニティセンター全館とその周辺
作品展示や発表、お餅・そば・やきとり・豚汁・ポップコーン・駄菓子などの模擬店販売、手作り品販売、フリーマーケットなどがあります。フリーマーケットは30日受付9:40開催11:00～15:00。

■「きずなのひびき」民俗歌舞団ほうねん座 米沢公演

被災者の方を無料ご招待します。(事前予約による先着100名様)
日時：平成23年11月4日(金)18:00開場18:30開演
場所：伝国の杜 文化ホール
入場料：大人2,500円 親子3,000円(前売) 小中高生1,000円
(当日300円増、未就学児無料)
[主催] ほうねん座米沢公演実行委員会
[問合せ] 公演事務局(高橋)080-6018-8970

■子育てランドあ〜べからのお知らせ

★マタニティママの日 始まります

あ〜べのおやこ広場、託児ルームの見学や、先輩ママや赤ちゃんに触れ合ったり、プレママ同士情報交換しませんか。(予約不要)
日時：「すくすく成長記録日」毎月第2金曜10:30～12:00
「母乳育児なんでも相談日」毎月第3土曜10:00～12:00
「わらべうたの日」月末の最終水曜10:30～12:00

★パソコン講座「再就職応援講座」

履歴書に書けるパソコン資格や自己PRする方法などを学びます
講師：ハローワーク山形マザーズサロンの職員
あ〜べのパソコン講師

日時：平成23年11月7日(月)・8日(火)10:00～12:00
場所：子育てランドあ〜べ「研修室」
対象：パソコンで文字入力ができる子育て中の方
定員：先着15名(要申込) ※子育て中の方が優先です
受講料：800円(2日間の全課程で)
託児：お子さんひとり1回500円(生後6ヵ月～就学前) ※要予約
[問合せ] 子育てランドあ〜べ
住所 〒990-0042 山形市七日町2-7-10 NANA-BEANS 5階
TEL 023-615-1930 FAX 023-615-1933
受付時間 9:00～17:00 休館日 毎週(木)、毎月最終(火)

■だいたいようぶ?! やまがた暮らし交流会

～みんなで支える、地域に溶け込むくらしの提案～

震災により山形県内への避難されている方の人数は1万人を越えています。慣れない土地での生活は思った以上に不安を感じる人が多いのではないのでしょうか?

そこで、避難者の皆さんをお迎えして「だいたいようぶですよ! (皆応援しています)」の気持ちと「だいたいようぶですか? (お困りのことはないですか)」の気持ちを込めての交流会を開催します。

☆ワークショップ&カフェ「心地よい関係作り」

相談員 山形県母子自立支援員 我妻郁子氏

- ・日時：平成23年11月15日(火)13:30～15:00
 - ・会場：山形県NPO支援センター1F研修室
 - ・定員：20名程度
 - ・対象：震災による避難者の方(山形市周辺)
 - ・受講料：無料(調理実習の回を含む)
 - ・申し込み方法：FAX、お電話、E-mail、又は山形市避難者交流支援センターまで申込書をご持参下さい。
- ※託児はありませんがお子様連れでのご参加は可能です。

※12月中旬にセミナーと調理実習を開催予定です。

※会場までの交通手段が困難な方は別途ご相談下さい。

[問合せ/申込み] (特活) 山形創造NPO支援ネットワーク
〒990-0832 山形市城西町1丁目7-19

TEL 023-647-0675 FAX 023-647-0676

E-mail sozokatsudos@amail.plala.or.jp (担当 鈴木・伊藤)

■福しまピクニック を開催します

山形であたらしい生活をはじめた福島のご家族を応援します!

いっしょに「ものづくりピクニック」を楽しみませんか?

・日時：11月3日(木) / 11月12日(土) 10:00～15:30

(※1回だけでも、ぜんぶでもOK/雨天決行)

・会場：村山市農村文化保存伝承館

(村山市大字河島元杉島1315-1 TEL 0237-53-3277)

・対象：東日本震災後に福島県から山形県に転入されたご家族

(※計60人程度/年齢問わず/先着順)

・費用：教材費1回1,000円(中学生以下は無料)

・内容：畑で収穫した野菜で「野菜スープづくり」、県産そば粉で「ガレットづくり」、その他「アート」「木」「自然あそび」「コーヒー」「ジャムづくり」のブースでお楽しみいただけます。

・持ってくるもの：お弁当、雨具(お天気によって)、動きやすい服装。それから、もしあったら縞模様の服(くつしたでも可)をどこかに身につけてきてください。『福しまピクニック』のドレスコードです!

[問合せ/申込み] 東北復興支援機構事務局

TEL 023-627-2218 E-mail y-gakusha@aga.tuad.ac.jp

[主催] 東北芸術工科大学

■mama`s link わたぼうし からのお知らせ

私たちスタッフも福島県から避難をしてきているママたちです。同じ避難をしてきているママと繋がれたら少しは安心するかな。そう思って、ママとママを繋げるためのサークルを立ち上げました。イベントに参加してみませんか。



①11月10日(木)10:00～11:00 骨盤調整ヨガ教室

②11月14日(月)10:00～14:00 みきていママの料理教室

③11月24日(木)10時台 ママズLinkシアター「ステキな金縛り」

※場所や参加費など詳しいことはHPをご覧ください。

<http://www5.hp-ez.com/hp/mamaslink-wataboushi/>

■ママのための2DAYフリートーク in 交流センター

子育てに関すること、山形暮らしの情報交換など、気軽におしゃべりませんか? 誰も友達がいないという方大歓迎です。みんなで語り合しましょう。スタッフは山形の地元ママ中心です。

日時：11月4日(金)・11日(金)の2回コース

10:00受付 10:30～12:30

場所：山形市落合スポーツセンター3階(交流支援センター隣)

託児：要申込み。お子様の名前、性別、年齢をお教え下さい。

申込：10月23日から電話または来所で予約開始

主催：NPO法人Yamagata1/元初ママフリートークの会

託児協力：ぐるんぱ

[申込・問合せ] 山形市交流支援センター TEL 023-625-2185

■タウンページをもらいましょう!

自分が避難者であることを告げれば、電話回線をひいていない人でも今住んでいる地域のタウンページがもらえます。

タウンページコールセンター 0120-506-309 へ!

みんなの声



- 人見知りなので最初はなかなか勇気を出せず日々を過ごしていたけど今では笑って話せるすてきなママ友ができて、山形で頑張っていると思えている。人との出会いに本当に救われた。感謝。(福島市・避難ママ)
- 私は週末になると福島に帰りたくてダメになります。(福島市・避難ママ)
- 福島県内において、被曝しながら命を削って生活費を産み出している夫に、温かいごはんすら出してあげられないのはとても辛い。(福島市・避難ママ)
- ママが笑顔になれば、子どもも笑顔になる。まずはママから、だと思ふ。(福島市・避難ママ)
- 増税が始まったら、市民の目が被災者支援に対して厳しい目になるのではと心配。(福島市・避難ママ)
- そんなに高い料金でない市民放射線量計測センターみたいなものがあつたら、心配なものはちゃんと計測して、疑心暗鬼にならずにすむ。(郡山市・避難ママ)
- 息子が内部被ばく検査の時「受けたくない!」と突然言い出しました。理由を聞いたら「もし高い数字が出て『あなたは○歳までしか生きられません』と言われたら恐いから」と。涙が出そうでした。(福島市・避難ママ)
- 山形は温泉王国!あちこちの温泉に入ったり公園に行ったり、山形ライフを満喫しています♪(福島市・避難ママ)
- 冬の暖房費が心配…。いざという時のために、ヒーターではなく、石油ストーブが欲しい。(福島市・避難ママ)
- 借り上げ住宅は原則一年間。子どもの学校生活などいろいろ考えると、このまま山形に移住したいけど、資金面から福島へ帰らざるを得ないだろうと思ってしまう(福島市・避難ママ)

みなさまからの声をお待ちしています



山形に来てみて、最近思うこと、心配なこと、誰かに聞いてほしいことなど、あなたの気持ちをみんなと共有しませんか。

左下にあるQRコードを携帯電話などのモバイルで読み取り、メールに書いてお送り下さい!



"冬に向けて聞きたいこと、心配なこと"

"子どものことでみんなに聞いてみたいこと"

"故郷の人に伝えたいこと" "自分の気持ち"

・・・などなど、なんでもOKです。

回答がほしい時は「回答希望」と書いてね。

うるかむ編集部より



ひと休み

あけびの皮を食べる、山形の郷土料理

あけびのはさみ焼き

〔材料〕

あけび 6個
鶏挽肉 100g
まいたけ 1パック(約150g)
(A) 味噌 大さじ3
砂糖 大さじ2
片栗粉 少々
かんぴょう 少々
塩 少々
サラダ油 大さじ1
酒 大さじ2

〔作り方〕

- ①あけびは洗って中の種を取り、水気を拭き取る。
- ②まいたけは、小房に分ける。
- ③えのきも小房に分ける。
- ④かんぴょうは塩でもみ、さっと茹でる。
- ⑤フライパンにサラダ油を熱し、鶏挽肉、まいたけ、えのきだけを炒め(A)を加える。
- ⑥①のあけびの内側に片栗粉をつけて⑤の具を詰め、④のかんぴょうで結ぶ。
- ⑦油を敷いたフライパンに並べて焼く。途中、酒を振りかけ、ふたをして蒸し焼きにする。



レシピ提供者: 映画「よみがえりのレシピ」製作委員会 鈴木淳子さん

支援センターのサイトをご覧ください→

<http://kizuna.yamagata1.jp/>

編集部より



情報提供、活動協力など
お待ちしております

避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元: つながろう! ささえあおう!

復興支援プロジェクトやまがた

〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号

「復興ボランティア支援センターやまがた」

TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312

E-mail kizuna@yamagata1.jp

WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

日頃より皆様からのあたたかいご協力ご支援をいただいております、心より感謝申し上げます。
★生活協同組合共立社(CO-OP)様で、本紙を掲示しています。お買い物の際などに、店内でご覧ください。
★以前お知らせした「県民手帳」は、来年3月まで利用できます。避難されている方でご希望の方はセンターまでお問い合わせください。無料進呈いたします。
● いも煮会ラッシュの日々、残すところあと一回。最後のいも煮会を終えたら来年のいも煮会の仕込みを始めなければいけない。いも煮会のために生涯を尽くす。山形県人とはそういうものだ。(伊藤 範)
● 人と人とが本当に繋がれば、お互いにとってもっといい形に世界をデザインし直すという事が自然に起こっていくって、最近リアルに感じる。(Hirory)
● 真っ赤な秋にそめられて…山々がきれい…と見惚れてしまう。空も雲もきれいですね。自然に癒されながら、目に見えないものと闘う切なさも同時に感じる。子どもたちの将来にどうか安らぎがありますように。(海谷)

本フリーペーパーを設置、掲示して下さるお店や施設等を募集中です。みなさまのご協力をよろしくお願いします!